

2023年度事業報告書

概況

本年度も、公益財団法人として、この会の目的に沿った育英事業を適切に行った。一方、資産の運用環境が厳しい状況は続いており、安定した事業運営を維持、継続するため、財務基盤の充実と業務の改善に努めた。

I. 事業状況

1. 学資給与事業

本年度の学資給与事業は、前年度と同様に、幼児給与金については月額12,000円、小学生給与金は月額13,000円、中学生給与金は月額24,000円、高校生等給与金（特別支援学校含む）は月額30,000円、大学生等給与金は月額50,000円を給与した。

また、入学・卒業記念品代として、小学校新入生については1人70,000円、中学校及び高等学校等の新入生は1人50,000円、大学等新入生は1人150,000円を、中学校卒業生（就業する者）は1人70,000円をそれぞれ贈呈した。

(1) 奨学生採用状況

奨学生願書は年4回受け付け、これを奨学生選考委員会に諮問し、採用を決定した。

本年度の採用状況は、表-1のとおり。前年度からの継続奨学生133人と新規に22人を採用したが、高校生等・大学生等に中途退学及び休学した者が計4人（異動欄）出たことから、年度末現在数は151人となった。

表-1 2023年度学資給与奨学生採用状況

(単位：人)

区分	継続者	新規採用者					異動 (増・減)	年度末 現在
		第1回	第2回	第3回	第4回	計		
幼児	2	2	0	0	1	3		5
小学生	24	0	0	0	0	0		24
中学生	27 (1)	0	0	0	1	1		28 (1)
高校生等	45 (1)	0	1	0	2	3	△ 1	47 (1)
大学生等	35	12	1	1	1	15	△ 3	47
計	133 (2)	14	1	1	5	22	△ 4	151 (2)

注：()の数字は特別支援学生で内数である。

(2) 学資給与の実績

学資給与金は、3カ月分ずつ年4回に分け総額57,102,000円を送金した。この内訳は、幼児給与金720,000円、小学生給与金3,744,000円、中学生給与金7,608,000円、高校生等給与金16,830,000円、大学生等給与金28,200,000円である。

(3) 入学・卒業記念品の贈呈

入学・卒業記念品として、総額2,810,000円を贈呈した。この内訳は、入学記念品として小学校新入生に140,000円、中学校新入生に300,000円、高等学校等新入生に800,000円、大学等新入生に1,500,000円、卒業記念品として中学校卒業生（就業する者）に70,000円である。

なお、これらの学資給与事業は基本財産運用益および修学助成資金積立資産（修学助成寄附金）をもって実施した。2023年度都道府県別奨学生数及び給与額は、別表(1)のとおりである。

2. 奨学金貸与事業

2019年度から学資給与事業へ一本化されたことにより、新規の貸与は発生しない。2018年度までの奨学貸与金については、規程に基づき返還手続き及び処理を行った。

奨学貸与金返還等の実績

奨学貸与金の本年度返還実績は、表-2のとおり総額18,051,900円である。

前年度末の奨学貸与金残高は218,472,270円、本年度奨学貸与金返還総額は18,051,900円であることから、本年度末現在の奨学貸与金残高は200,420,370円となった。

表-2 2023年度貸与金返還等の状況

(単位：人、円)

区 分	実人数	金 額
A. 前年度末奨学貸与金残高	245	218,472,270
B. 本年度奨学貸与金返還総額 (内返還完了者)	126 (13)	18,051,900
C. 本年度奨学貸与金返還免除額 (特別免除) (免 除)	0	0
D. 本年度末奨学貸与金残高 (D=A-B-C)	232	200,420,370

3. 育英事業の推進に必要な事業

(1) 募 金 活 動

漁船海難遺児を励ます全国協議会や水産関係団体等の協力を得て、基盤強化を図った。

(2) 普及指導活動

ア. 「育英会だより」の発行

年4回、各4,000～4,500部を発行し、遺児家庭、JFグループ及び関係方面に広く配布した。

イ. 広報・募金コーナー設置

本年度は、各種イベント等の会場で、広報・募金活動を実施した。

ウ. 奨学生・保護者交流活動の実施

毎年夏休みに実施している「ふれあい旅行」は、コロナ禍で中止していたが、4年ぶりに再開した。7月28～29日に、東京ディズニーリゾート周辺で実施し、奨学生17人、保護者11人の計28人が参加した。

エ. 広報活動

事業の趣旨及び内容について広く国民の理解を得るため、機会あるごとに資料の配布や報道機関等の協力を得てPRを行い、募金及び「励ましおじさん・おばさん」の募集に努めた。

また、ホームページを更新して、情報発信の強化を図った。

(3) 実 態 調 査

中学校、高等学校等及び大学等の卒業生の進学・就職に関する動向等、卒業後の進路を調査した。

II. 寄附金、基本財産、特定資産

1. 寄附金（修学助成寄附金）

(1) 水色の羽根募金

本年度の寄附金は、物価高騰等の厳しい経済情勢の中、大口の遺贈を受け、表－3のとおり101,143千円の実績となった。計画対比202.3%（計画50,000千円、前年実績49,874千円）

表－3 2023年度一般寄附金実績
(単位：円、%)

区 分	金額	構成比
J F グ ル ー プ 募 金	20,367,452	20.1
一 般 寄 附 金	80,775,697	79.9
合 計	101,143,149	100.0

(2) 励ましおじさん・おばさん奨学資金

定期的に支援いただく「励ましおじさん・おばさん」については、前年同様に募集を行った結果2,633,500円となった。計画対比75.2%（計画3,500千円、前年実績、2,736千円）

なお、年度末現在数は71人（前年度78人）であった。

2. 基本財産

基本財産は、本年度期首額5,950,151,640円に対し、表－4のとおり本年度期末額5,944,265,543円となった。

表－4 2023年度期末基本財産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	5,950,151,640
投 資 有 価 証 券 償 還 額	260,000,000
投 資 有 価 証 券 購 入 額	253,608,000
投 資 有 価 証 券 当 期 償 却 額	505,903
本 年 度 期 末 額	5,944,265,543

3. 特定資産（修学助成資金積立資産）

特定資産の修学助成資金積立資産は、本年度期首額349,755,820円に対し、表－5のとおり本年度期末額446,382,857円となった。

表－5 2023年度期末特定資産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	349,755,820
本 年 度 増 加 額	122,447,231
本 年 度 減 少 額	25,820,194
本 年 度 期 末 額	446,382,857

本年度期末額446,382,857円の内訳は、投資有価証券115,045,729円、預貯金331,337,128円である。

以 上